

令和2年度第2回焼津市総合教育会議議事録(概要)

1 開催日時 令和2年10月27日(月) 午後3時から午後3時50分まで

2 会場 焼津市役所6階 603号室

3 出席者

(構成員)

市長 中野弘道

焼津市教育委員会

教育長 羽田明夫

教育委員 大石智之 山竹葉子 河江富男

(関係者)

副市長 下山晃司

社会教育委員長 渡邊徹

(事務局)

教育委員会事務局長 櫛田隆弘、教育総務課長 増田洋一、学校教育課長 池田純也、学校給食課長 鈴木孝之、社会教育課長 見崎孝之、文化財課長 佐藤三夫、図書課長 石上睦晃、学校教育課主席指導主事 寺尾正幸、学校教育課主席指導主事 鈴木泉、教育総務課総務担当主幹 片瀬能彰

こども未来部長 渡辺晃子、こども相談センター所長 岡村昇

交流推進部長 小梁金男

行政経営部政策企画課総務担当主幹 山下浩一

4 協議事項

(1) 焼津市教育大綱の見直しについて

(2) 家庭・子ども支援室について

(3) その他

5 議事内容

別紙のとおり

中野市長	<p>【午後3時開会】</p> <p>(次第1 開会)</p> <p>(次第2 市長あいさつ)</p> <p>皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、「令和2年度 第2回 焼津市総合教育会議」に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。教育委員の皆様におかれましては、日頃より、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。本日は、焼津市教育大綱の見直し及び家庭・子ども支援室について御協議いただきます。焼津教育大綱につきましては、前回の総合教育会議において、委員の皆様から御指摘いただきました事項について、修正をいたしました。また、家庭・子ども支援室につきましては、取組状況、課題等につきまして、御説明させていただきます。教育委員会と市が連携・協力し、より良い教育の方向性を見出すことができますよう、御意見、御指導を賜りますよう委員各位にお願い申し上げます。また新型コロナウイルス感染症については、現在のところ焼津市では3名の軽症者が発生しておりますが、確認以来回復し、元気に生活をしています。感染拡大を防いでいることは地域力の高さ、手洗い、うがい、ソーシャルディスタンス、換気、イベントの見直し等、各地域、各団体の皆様方の御尽力のおかげで現在の状態が保たれていると考えているところでございます。今後も同様の御指導を教育委員の皆様からもしていただき、早期に終息して新しい時代が幕を開けることを祈念しております。</p> <p>本日は、御協議をよろしくお願い申し上げます。</p>
櫛田事務局長	<p>(次第3 協議事項)</p> <p>(1) 焼津市教育大綱の見直しについて</p> <p>配付資料により説明</p>
大石委員	<p>前回の会議での意見を上手く全体にちりばめていただいております。特に笑顔というキーワードが非常にたくさん様々な箇所に記載されていて、この大綱が笑顔を重視しているところが前面に出ていて、具体的に方向性を示しているものになっています。ありがとうございます。</p>
羽田教育長	<p>大石委員から指摘をいただいた事項ですが、壁に負けないで調整していく粘り強さだけではなく、興味や関心をもって挑戦する姿勢の重要性について修正しましたが、その部分が非常に大事だと思います。山竹委員からの御指摘がありましたが、優しく、強く、愛しい人づくりではなく、皆で目指していくという点についても、修正させていただき、よりよいものになったと思います。今後パブリックコメントを実施しますが、様々なところで広報し、焼津の教育の方針が広まっていき、焼津市に住んでいる方は、焼津でよ</p>

	<p>かったと思ってもらい、他市町の方は、焼津はいいなって思う大綱として広がっていけばいいなと感じたところです。</p>
山竹委員	<p>こちら側の主体的な姿勢が一層でたような感じがします。ありがとうございます。</p>
河江委員	<p>生涯学習の推進ということで、芸術文化分野に多くの記載があり、ありがとうございます。</p>
中野市長	<p>これを原案とし、パブリックコメントを実施することでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
中野市長	<p>ありがとうございました。以上で、焼津市教育大綱の見直しについて、を終了いたします。</p>
池田学校教育課長	<p>(2) 家庭・子ども支援室について 配付資料により説明</p>
大石委員	<p>事例が4件あるが、現在のあゆみのスタッフ体制で人は不足しているのか、あるいは、まだ受け入れる余裕はあるのか教えてください。</p>
池田学校教育課長	<p>足りない状況にあります。現在37件に関わっていますが、新規の案件についての対応が止まっている状況にあります。丁寧に対応しており、子どもに対し学習支援を行ったり、家庭へ訪問したりするケースもあり、足りない状況です。</p>
大石委員	<p>報告を聞いていますと、関わる時間が多いほど解決に向け進捗が高まるようですので、不登校児童生徒数も増加傾向にあるので、体制を作っていくことが大切であると思いました。</p>
山竹委員	<p>御苦労されていると感じます。効果が上がっているのは、相談先が学校ではないということもあると思います。学校ではない、子どもに対する専門家、親に対する専門家、いずれも精神的なところが求められていると思うので、今、人数が少なく大変だと思いますが、学校ではない専門家の協力が大切であると思いました。</p>
河江委員	<p>スクールソーシャルワーカーは市の雇用ですか。現在、何名いますか。</p>

池田学校教育課長	市で3名いますが、家庭・子ども支援室でスーパーバイズをしていただいている方は1名です。その方を含め3名は学校に配置しています。
河江委員	体制が不十分ですね。予算等、制約があると思いますが、子どもは将来の宝でありますので、そういうところへ予算を付けていただくと、ありがたいと思います。
山竹委員	家庭・子ども支援室となっていますが、家庭に対する支援と、子どもに対する支援と、どちらの比重が大きいかと感じていますか。
池田学校教育課長	両方必要かなと思います。子どもへの支援イコール家庭への支援となるケースが多いと感じています。子どもの表れは家庭の影響であると思います。保護者を支えることにより、子どもの心が安定し、足が学校へ向くケースはよくありました。
河江委員	中学校の不登校率は全国の平均より下回っていますが、小学校は上回っている。このため、今後中学校の率が上がることが危惧されるので、早い対応をお願いしたいと思います。
池田学校教育課長	委員のおっしゃる通りで、平成29年度に小学校で国・県を上回っています。その児童が今後、中学生となった際に、国や県を上回ってしまうのではないかと心配しています。
大石委員	焼津市が、県・国を上回っているという事実をもって、なぜ焼津市は多いのか原因を分析されていると思いますが、新たな不登校を生じさせないために、学校での対応は重要ですが、学校だけではない部分もあると思います。大きくは、家庭に問題があると思いますが、学校の対策を講じるのと同時に、家庭の対策ができないかと考えます。そういった部分を新たな柱として作っていただけるといいかなと思います。
羽田教育長	最近、小学校1年生のお母さんと話す機会がありましたが、コロナの影響で入学式のみ登校し、5月中旬まで休校であったので、学校に行くことを、すごくぐずったそうです。そのお母さんは、最初は学校まで一緒に歩いて行って、今は、家の外で見送っているそうです。大石委員の話にありましたが、家庭がある程度指導していると子どもは、不安が解消されると感じるところです。不登校児童生徒が増えている状況を考えると、学校が子どもにとって魅力のある学校になること。最初、グズグズしていても、学校に行ったらすごく楽しいと感じれば、子どもは、次の日も登校しますので、子どもにとって魅力があり、保護者にとって信頼できる場所となることが一番であると思うので、教育センターがそれに向けて事業ができることは、重要であると思

山竹委員	<p>ます。また、現在の不登校児童生徒への対応も大切であり、それが、家庭・子ども支援室であると思っています。教育センターと家庭・子ども支援室の両輪が回ったときに、焼津市の不登校児童生徒は減ってくると感じています。</p> <p>学校に行くことが目的ですが、社会とのつながりの中で学校に行かない選択肢もあるのではないかと思います。家庭がベストな状態でない場合、親は非常に変わりにくい部分があるので、そのような場合の対応も考えていかなければいけないと思います。</p>
中野市長	<p>皆さんの思いが一緒であると確認ができました。焼津市として、子どもたちをどう育てていくか、学校現場の声を聴きながら、体制を整えている初年度であります。今回、家庭・子ども支援室が始まって、大きな成果が上がっていると思っていますところ。市としての組織体制について、大きな後押し意見をいただきましたので、組織の拡大及び充実を検討しながら実施していきたいと思っています。学校、家庭は重要ですが、学校に入る前の段階において家庭で対応しきれない部分は公的に対応し、丁寧に育てていく必要があると思っています。小さい時を社会がみていく時代になっているので、焼津市としても課題として取り上げ検討しているところです。</p> <p>非常に良い意見をいただき、厚く御礼を申し上げます。</p>
渡辺子ども未来部長	<p>(3) その他</p> <p>広報やいづ臨時号「子育て支援特集号」について（報告）</p> <p>配付資料によりに説明</p>
羽田教育長	<p>幼稚園を2園拝見させていただきましたが、先生からの指示は、ほとんどなく、子どもたちが主体的に行動できる保育をしていました。小中学校も学ばなければいけないと感じたところです。</p>
大石委員	<p>広報臨時号の内容が素晴らしく、外に出してほしいと思いました。例えば焼津市のホームページに子育て支援の特別ページを作って掲載したり、プッシュ型でPRできれば、焼津市の人口増にもつながっていくと思いました。積極的にお願いします。</p>
教育総務課長	<p>(次第4 連絡事項)</p> <p>今回は来年2月22日(火)午後3時から、603号室で開催予定です。</p> <p>(次第5 閉会)</p> <p>【午後3時50分閉会】</p>